

選挙啓発広報

# おうめしるばら

第1号 平成18年3月

発行 青梅市選挙管理委員会  
青梅市明るい選挙推進協議会

青梅市の有権者数 男女 56,515人  
55,858人  
計 112,373人  
(平成18年3月2日現在)



日本の未来はあなたの未来  
決める権利はあなたにある

平成17年度明るい選挙啓発ポスターコンクール  
都道府県選挙管理委員会連合会会長賞  
霞台中学校2年 志村麻衣さんの作品

## 『明るい選挙推進運動』 と青梅市明るい選挙 推進協議会の活動

### 明るい選挙とは

私たち国民一人ひとりが政治や選挙に関心を持ち、買収・供応などの不正に惑わされることなく自分の考えで、正しく投票する選挙のことを「明るい選挙」といいます。

### 明るい選挙推進運動とは

「明るい選挙」を進める運動が「明るい選挙推進運動」で、全国で約12万人のボランティアがそれぞれの地域で活動しています。



この運動は、投票率の向上や、選挙違反の撲滅を目指すだけでなく、国民の意見が選挙によって政治に反映され、私たちの暮らしに生かされていくことを目標にしています。特定の政党、政策、候補者を支持したり、反対したりする政治活動や、選挙運動とは区別されます。

### 明るい選挙推進のために 「青梅市での取り組み」

青梅市では、地域等から推薦された「明るい選挙推進委員」、「明るい選挙推進協議会委員」、「白ばら会員」、「話しあい指導員」、合わせて約180人が、明るい選挙推進のために活動をしています。

選挙時には、投票日をお知らせするポスターを掲示したり、街頭で投票参加を呼びかけたり、また、期日前投票における「投票立会人」として、公正な選挙が執行されるよう立ち会いをしています。

日ごろは、市民の皆さんを対象にした講演会を開催したり、産業観光まつりや各地区の運動会・文化祭などの行事に参加して「明るい選挙」を理解していただくための活動を行っています。

また、皆さんと身近な問題をテーマに話しあい、政治や選挙、そして暮らしについて関心を深めていただけるよう「話しあい活動」も行っています。

これからも明るい選挙推進協議会の活動について、ご理解とご協力をお願いします。

青梅市明るい選挙推進協議会  
青梅市選挙管理委員会

衆議院議員選挙 (小選挙区選出)

選挙執行事由 解散による
公示日 平成17年 8月30日(火)
投票日 平成17年 9月11日(日)
(天候 曇り時々晴れ後雨一時雷雨)

Table with 6 columns: 区分, 当日有権者数, 投票者数, 棄権者数, 投票率, 前回投票率 H15.11.09

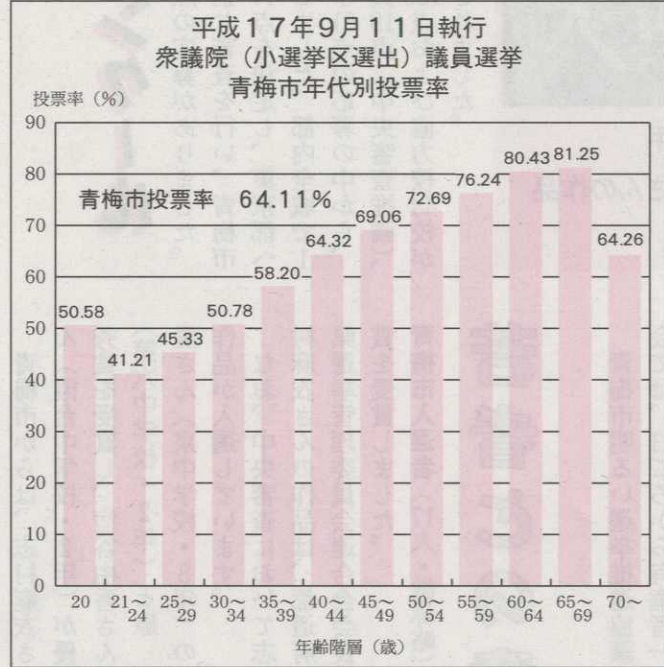
東京都議会議員選挙

選挙執行事由 任期満了による
公示日 平成17年 6月24日(金)
投票日 平成17年 7月 3日(日)
(天候 曇のち雨)

Table with 6 columns: 区分, 当日有権者数, 投票者数, 棄権者数, 投票率, 前回投票率 H13.06.24

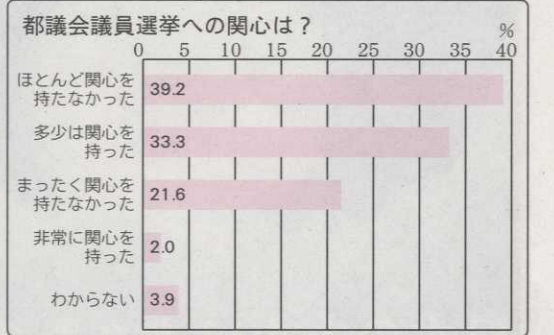
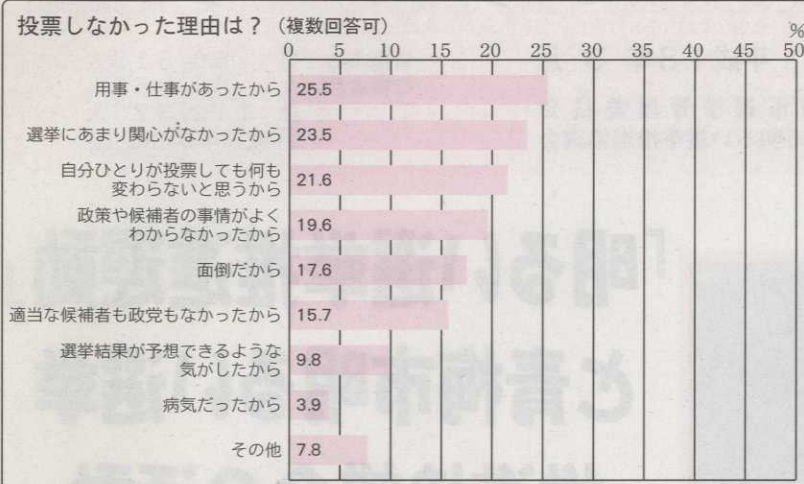
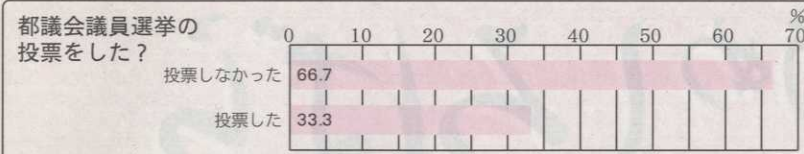
都議会議員選挙結果

選挙結果



選挙に関する若者の意識調査

青梅市選挙管理委員会と青梅市明るい選挙推進協議会では、選挙に関する若者の意識調査を実施しました。この調査は、青梅市の20歳から29歳までの有権者の中から無作為に抽出した270人の方々をお願いしたもので、二十歳代の若い方々の選挙や政治についての考えを知ることができると計画しました。内容は、平成17年7月3日執行の東京都議会議員選挙をはじめ政治や選挙全般について質問しています。貴重なご意見は、今後の選挙時の啓発および明るい選挙推進のための参考資料として活用していきます。



都議会議員選挙を終えて



バス啓発活動に参加して
河辺地区推進委員 福田和代

市民の皆様にも多く投票に参加していただくようにとの目的で全員張り切って出陣しました。投票参加の呼びかけを録音テープで流し、私は車外に降りて呼びかけます。一人ひとりの考えをこの選挙に託して、全員投票に望んでいただくことを私達委員の使命と思い、これからもバス啓発が投票率アップに繋がっていくことと思います。



期日前投票

新町地区推進委員 内山洋子

推進委員になり、初めて期日前投票立会人をしました。その時に一番印象に残ったことがあります。世間では、若い方達の投票率が低いと批判されている時だけに、高齢者の方が多いとばかり思っていました。ところが若いご夫婦、二十代の男女の方々の多いのに驚きました。それと、仕事の途中で投票に来てくださった方、車イスの若い方、引越越しをしたが、住民票がまだ青梅市にあるからと来てくださった方、まだ若いご夫婦でした。私は立会人として、若い世代の方々に、日本の未来を託してもよいのではないかと、う気持ちになりました。

衆議院議員選挙 期日前投票

長淵地区推進委員 栗原千代

郵政民営化選挙といわれる大切な選挙の立会人をしました。若い方、体の不自由な方、いろいろな方が一生懸命に。そして大切な選挙という気配が見られました。午前10時には100人以上の方が来て、午後には400人になり、投票所内の様子も、大勢の方々のうごきを見守る私にはとても一日が長く、またこの選挙で国の動きが変わっていくのだなあーと思ひ、一人ひとりに頭を下げ御苦労様の声をかけました。終了時間の午後8時までは700人を超える方が投票に来てくださいました。投票所がもう少し広く明るければよかったのではないかと感じました。

バス啓発で感じたこと

東青梅地区推進委員 五十嵐恒夫

「もう投票して来ました」との声が多く聞かれた時には、とてもうれしく感じました。今後もバスが巡回します。ぜひ投票にお出掛けください。

明るい選挙推進委員に任命されて初めてバス啓発活動に参加しました。私達は初めに東青梅駅前で行き交う人々にうわややティッシュペーパーを配りながら、選挙当日は棄権しないようお願いをしました。せっかく手渡しても受け取る人、無視する人いろいろです。出来るだけ多くの人に選挙当日は投票に行ってくれるよう話しかけをしました。本当に効果があつたのか疑問が残りましたが、啓発活動は必要ですが、投票日当日、投票した後に啓発資料を差し上げたかどうかと感じますが...

バス啓発活動に参加して

藤橋今井地区推進委員 中村政子

推進委員になり初めて、選挙に関する事に参加させてください。何をどのようにすればよいか理解出来ませんでした。選挙時にバス啓発活動という仕事がありました。バス2台で出発し、市内を啓発して回ります。

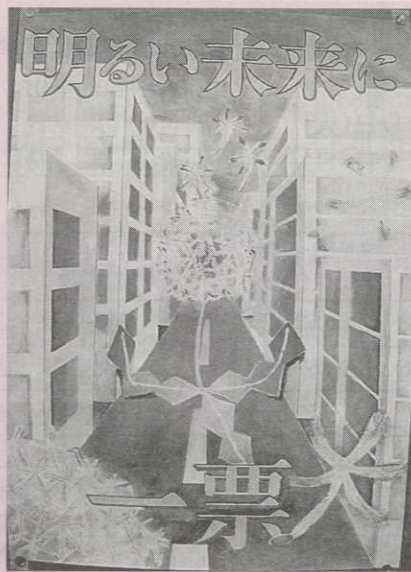
# 明るい選挙啓発 ポスターコンクール

市内小学校児童、中学校・高等学校の生徒を対象に、明るい選挙を推し進めるうえに役立つ独創的で、印象深いイメージのポスターを平成17年5月から9月までの期間で、募集したところ、市内小学校3校から19点、中学校6校から88点の応募がありました。厳正な審査を行い、青梅市入選17点を決定し、東京都へ推薦しました。都内全域で1万3千51点の応募の中から、優秀賞19点（中央審査推薦）、入選100点および協力校44校が決定されました。



☆泉中学校3年

原 愛 さんの作品



☆第六中学校2年

宿 谷 由 香 さんの作品

## 〈東京都入選作品〉

青梅市からは、志村麻衣さん（霞台中学校・2年）が優秀賞を受賞し、宿谷由香さん（第六中学校・2年）と原愛さん（泉中学校・3年）の作品が入選しています。なお、中央審査において志村麻衣さんの作品は、都道府県選挙管理委員会連合会会長賞を受賞しました。青梅市入選者（17人・敬称略）

## 若者との意見交換会

### 平成17年6月8日実施

青梅市明るい選挙推進協議会では、日ごろから有権者一人ひとりが、社会のあり方や政治に深く関心を持ち、投票参加意識が高まっていくことを目指して、明るい選挙推進運動を行っています。なかでも選挙時啓発では、市内全域をバスで巡回し、投票参加への呼びかけを行っています。しかしながら、特に若年層の投票率の低下は、全国的な傾向でもありますが、青梅市でも同じ傾向を示しているところではあります。

### 意見交換会に参加して

成木地区推進委員

西村 博

そこで、明星大学の学生たちに「若者」が考えていることを聞き、これからの選挙啓発の方法を考えるうえで、参考にしていくことと、

6月8日に明星大学の学生さんとの選挙についての意見交換会に出席しました。選挙が行われたら投票に行きますかとの問いに「投票に行く」と答えた学生は20人中4人と1/5の人数であった。行く理由は「親が行くから」とか「親にすすめられたから」との理由であった。「行かない」と答えたほとんどの人が「政治には関心がない」「どんな候補者が出てくるかわからない」「誰が出て来ても変わらない」などの考えをもっていることにショックを覚えた。話を聞いても選挙に関してはまったくと言ってよいくらい関心はないように思えた。

### 編集後記

記録をぬり変える様な大雪、なだれ、異常な寒波にみまわれた、この冬でしたね。期待しながら、毎日、テレビの前で一生懸命、冬期オリピックを応援した2月。編集会議も回を重ねて、青梅市でも、新しいタイトル「おうめ しろばら」として皆様にお届けします。

編集委員 ◎西村 博

◎並木 明 ◎栗原千代

◎小林節子 ◎亀田和子

◎田中純子 ◎西 貞雄

◎五十嵐恒夫 ◎内山洋子

◎福田和代 ◎中村政子